

令和 8 年度 上下水道料金等審議会

水道事業経営戦略のフォローアップ報告

目次

- 1.経営戦略の基本的事項
- 2.フォローアップの目的
- 3.事業の現況
- 4.経営分析
- 5.フォローアップ
- 6.まとめ

令和 8 年 7 月 2 日（木）

浦添市上下水道部 経営企画課

1. 経営戦略の基本的事項

経営戦略の趣旨

- 浦添市水道事業は、1962年（昭和37年）の給水開始以降、市勢の発展等に対応し、安全で豊富低廉な水道水の安定供給に努めてきました。
- 近年、節水機器の普及等による給水量の減少により、給水収益が伸び悩んでいます。また、現在までに整備してきた多くの水道施設の老朽化が進み、施設の更新や耐震化に多大な費用が必要となることが見込まれています。
- 本市では、令和3年3月に「浦添市水道事業経営戦略（2021～2030）」を策定、令和6年3月に「浦添市水道事業経営戦略改定版（2025～2034）」を策定し、経営健全化と経営基盤の強化中です。

経営戦略位置づけ

- 本市では、安全・強靱・持続可能な水道を目指すため、「浦添市水道事業ビジョン」を2018（平成30）年度に策定しました。
- 本経営戦略は、「浦添市水道事業ビジョン」の基本理念を引き継ぎ、「地域と共に信頼を未来へつなぐ浦添の水道」を実現するための、中長期的な経営の基本計画として位置づけます。
- 本市水道事業整備計画とのすり合わせを行い、投資財政計画を策定します。

計画期間

- 令和7（2025）年度から令和16（2034）年度の10年間

フォローアップの期間

- 令和7年度の1年間

2. フォローアップの目的

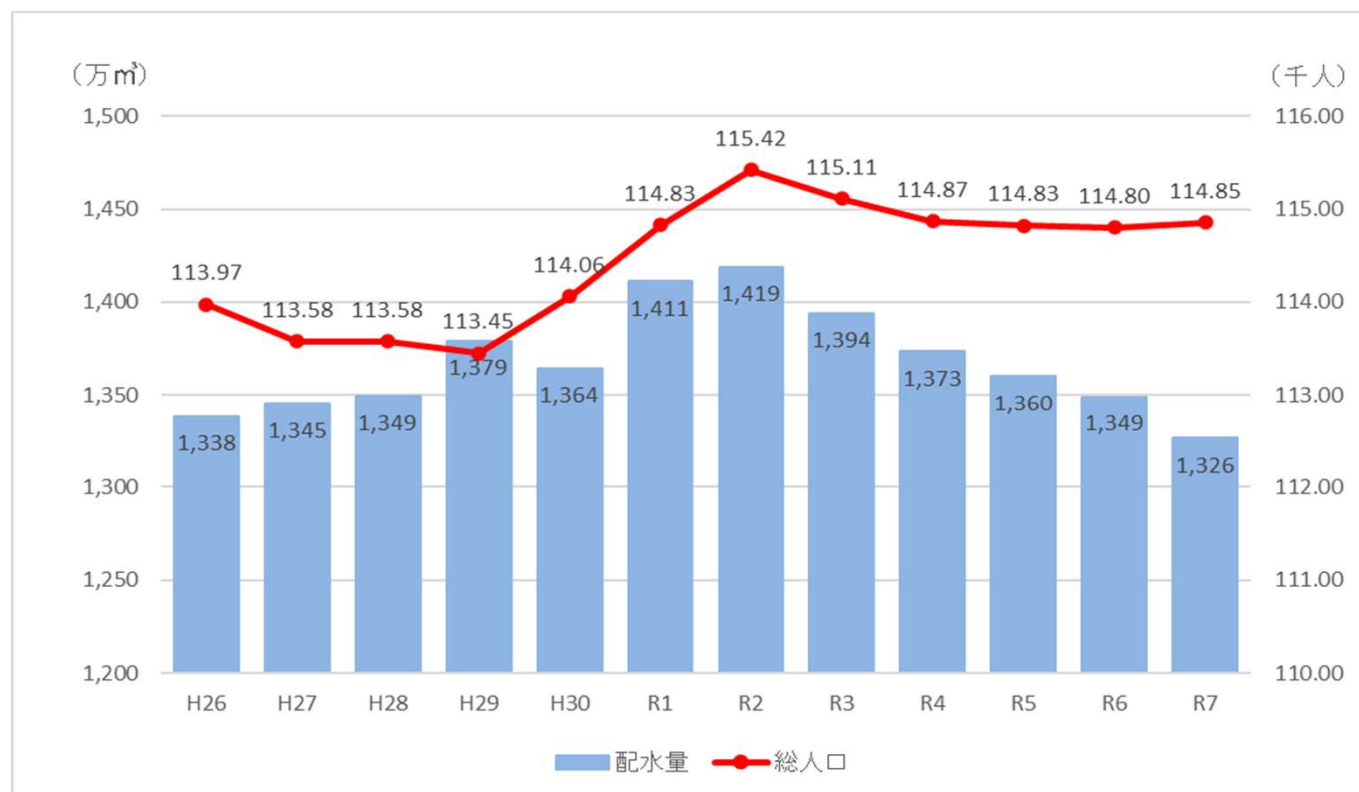
今回フォローアップを行う目的3点ございます。

1点目は、『**計画の健康診断**』です。経営戦略の投資計画や財政見通しが計画通りに進んでいるか、乖離がないかをチェックします。

2点目は、『**課題の早期発見**』です。老朽化対策などの遅れ、財政的なリスクがないかを早期に洗い出します。

3点目は、『**時代の変化に合わせた軌道修正**』です。社会情勢の変化を捉え、必要であれば計画を柔軟に見直します。

3. 事業の現況 (1) 給水量



各項目 \ 年度	H26	R5	R7	増減率 R5-R7
給水人口	113,971	114,825	114,854	0.03%
配水量	13,381,814	13,601,107	13,263,127	-2.48%
一人一日平均給水量	322	325	316	-2.77%
一日最大給水量	38,544	38,054	36,936	-2.94%

3. 事業の現況 (2) 施設諸元

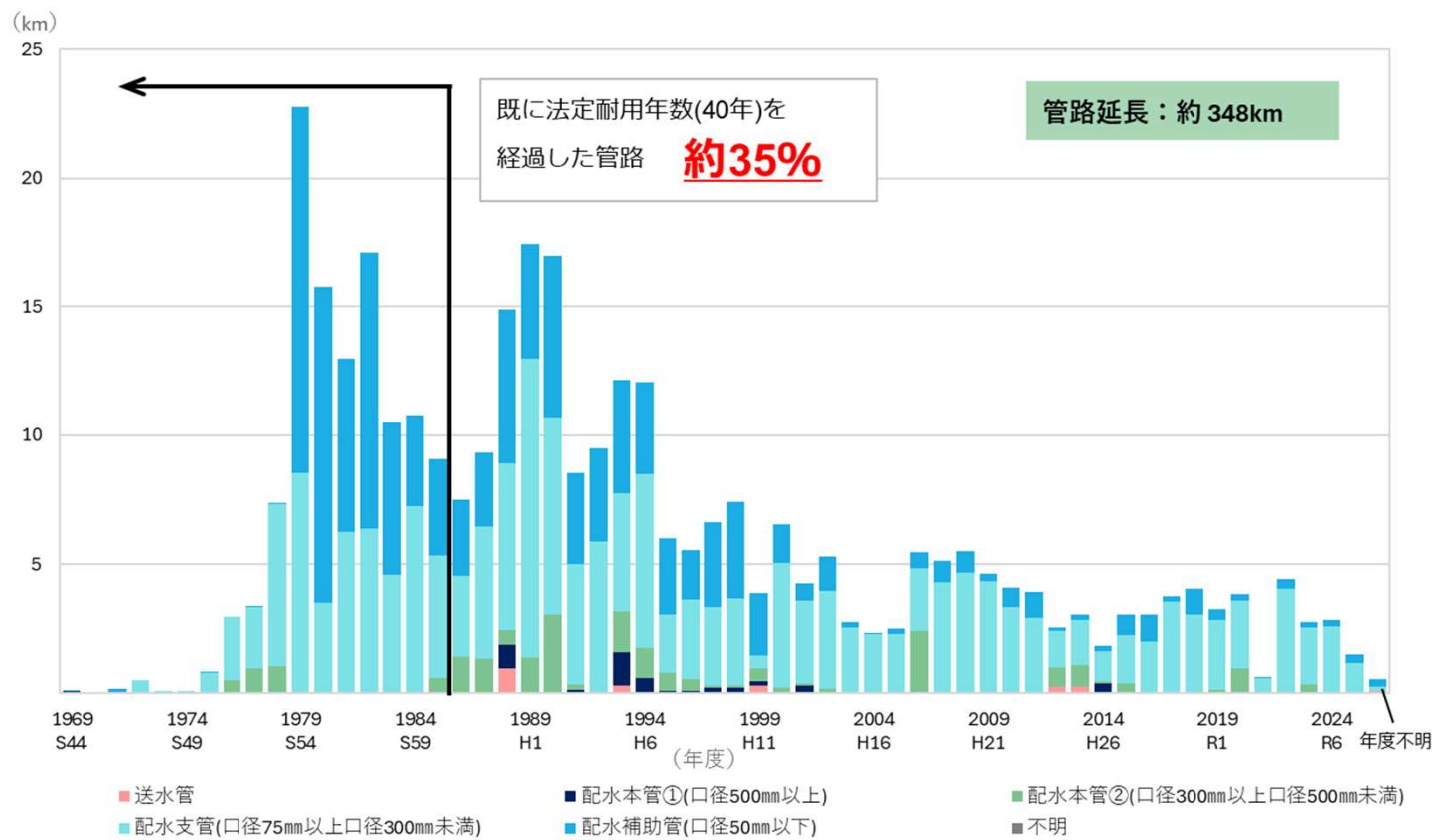
施設名	構造	有効容量	完成年度	経過年数 (2026 (R8) 年時点)	備考
前田第1調整池	RC造	7,600m ³	1973 (S48)	53年	企業局管理
前田配水池	PC造	4,000m ³	2013 (H25)	13年	—
仲間配水池	PC造	273m ³	1966 (S41)	60年	—
浦仲配水池	RC造	5,000m ³	1988 (S63)	38年	地下式
沢岬配水池	PC造	11,000m ³	1993 (H5)	33年	2層式、半地下式
前田増圧ポンプ施設	—	—	1987 (S62)	39年	—
仲間増圧ポンプ施設	—	—	2008 (H20)	18年	—
浦仲中継ポンプ施設	RC造	—	1988 (S63)	38年	—
中央監視室	—	—	2008 (H20)	18年	—

- 前田第1調整池、仲間配水池は、施設完成から50年以上が経過し、施設の老朽化が懸念されており、今後10年間で施設更新を予定しています。

※前田第1調整池は本市の実質的な配水池となっています。そのため、更新に際し、本市が新設する予定となっています。

- その他、減圧弁などの機械設備及び配水池の水位計などの電気計装設備の更新も必要となります。

3. 事業の現況 (3) 管路施設



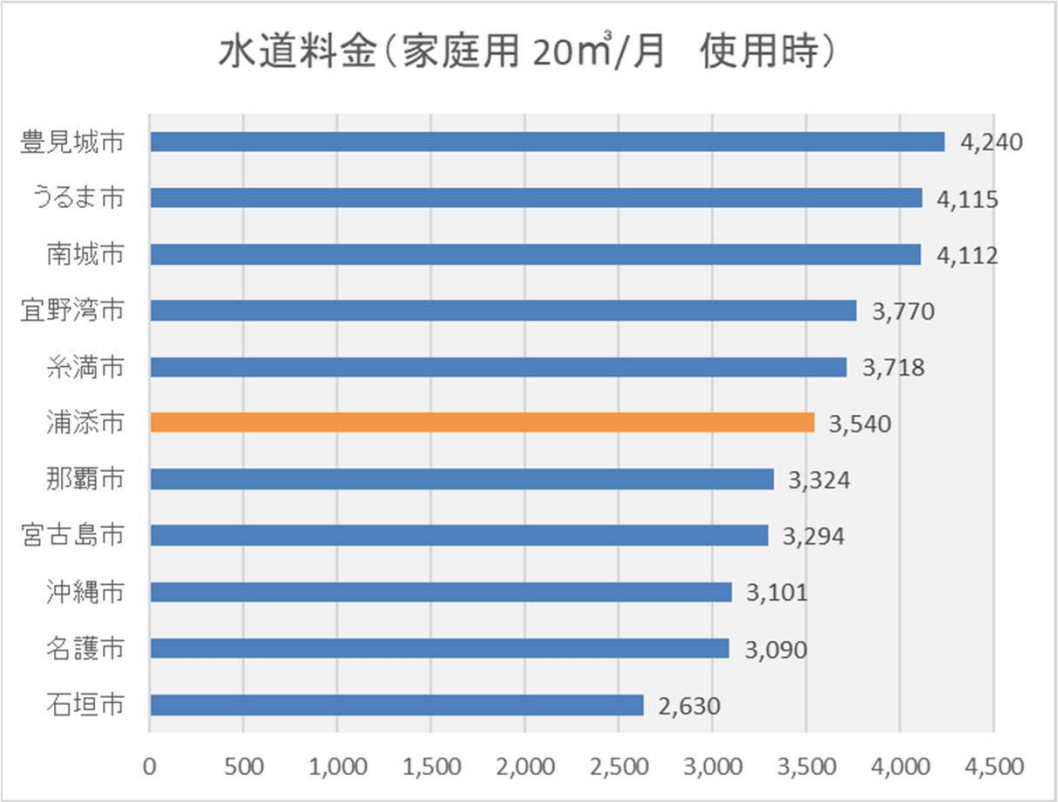
- 既に法定耐用年数（40年）を超過している管路は約121kmと管路総延長の**約35%**です。
- 老朽化の増加は、漏水量の増加など本市の支出に多大な影響があるため、管路更新の着実な実施が求められます。

3. 事業の現況 (4) 水道料金

料金体系表

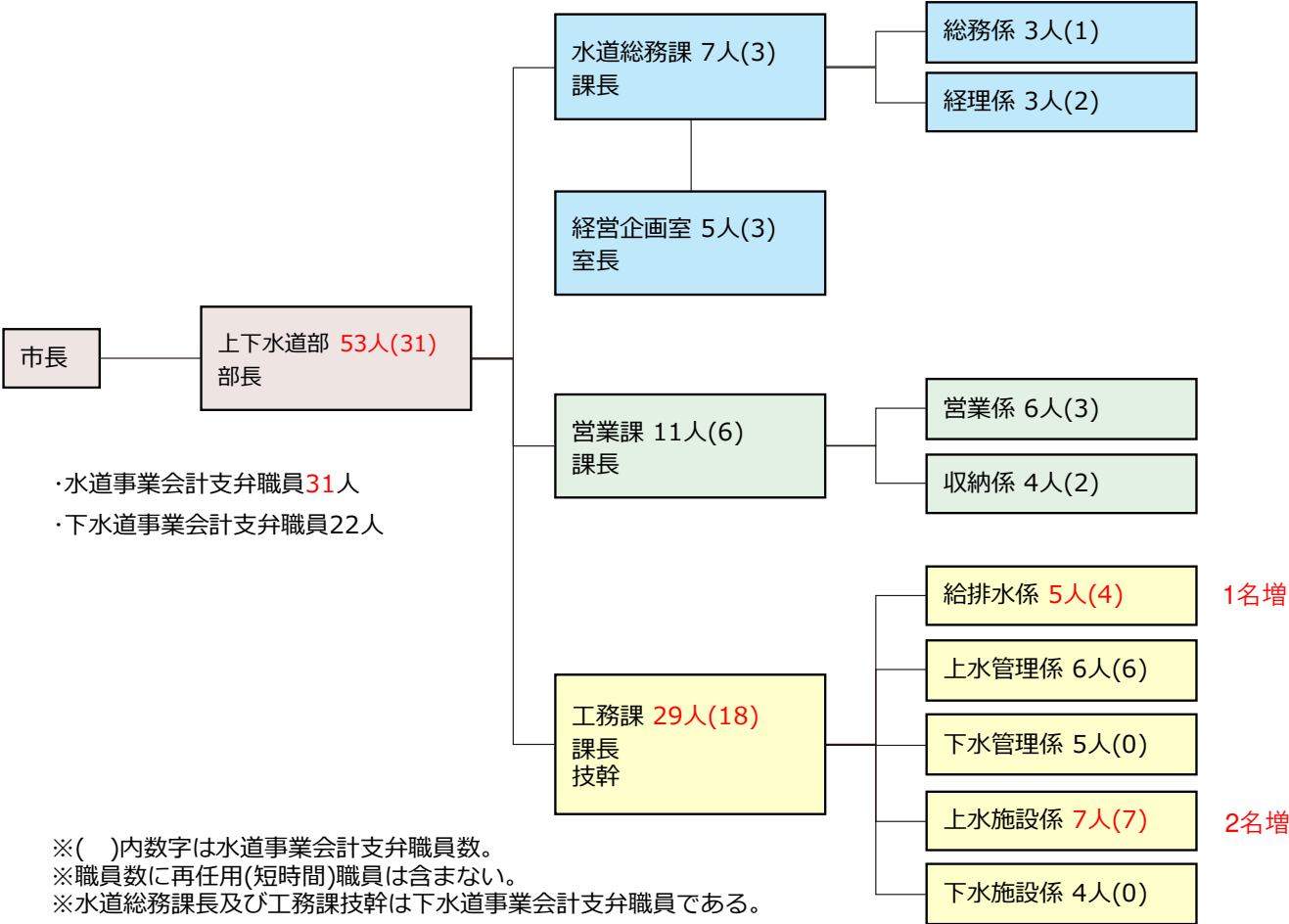
用途別	基本水量	1ヶ月料金(税抜)							
		基本料金			超過料金(1㎡につき)				
		改定前	現行	改定率	1立方メートルにつき	改定前	現行	改定率	
家事用	8㎡まで	850円	1,020円	20%	9～20	175円	210円	20%	
					21～30	185円	222円	20%	
					31～50	195円	234円	20%	
					51以上	210円	252円	20%	
営業用	10㎡まで	1,200円	1,440円	20%	11～50	210円	252円	20%	
					51～200	225円	270円	20%	
					201～500	235円	282円	20%	
					501以上	270円	324円	20%	
官公署用	10㎡まで	1,100円	1,320円	20%	11～100	210円	252円	20%	
					101～500	225円	270円	20%	
					501～1,000	240円	288円	20%	
					1,001以上	275円	330円	20%	
浴場用	100㎡まで	6,000円	7,200円	20%	101以上	100円	120円	20%	
臨時用	1㎡につき					500円	600円	20%	
船舶用	1㎡につき					350円	420円	20%	

※浦添市調べ、2026年6月22日



沖縄県内11市比較

3. 事業の現況 (5) 組織

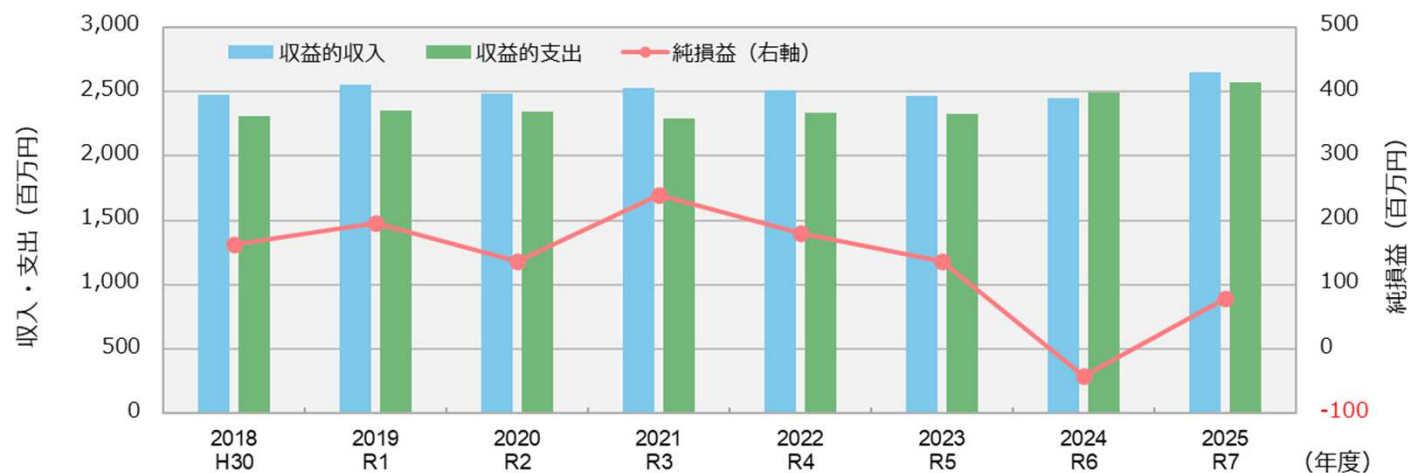


・ 令和 7 年度末時点
 ・ 増数は令和 5 年度末と比較

4. 経営分析

(1) 収益的収支の推移 (H30～R7年度)

収益的収支



- 令和5年度までは、純利益1～2億円で推移していました。
- 令和6年度は、**約4,123万円の赤字**。これは、県企業局の水道料金値上げによるものです。
- 令和7年度は、水道料金改定により黒字となっています。

年度	(西暦) (和暦)	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7
収益的収入	(千円)	2,471,070	2,549,847	2,481,419	2,527,735	2,511,972	2,459,988	2,447,711	2,651,086
収益的支出	(千円)	2,308,882	2,354,671	2,344,616	2,287,920	2,332,883	2,323,373	2,488,949	2,572,079
純利益	(千円)	162,187	195,176	136,803	239,815	179,089	136,615	-41,238	79,007

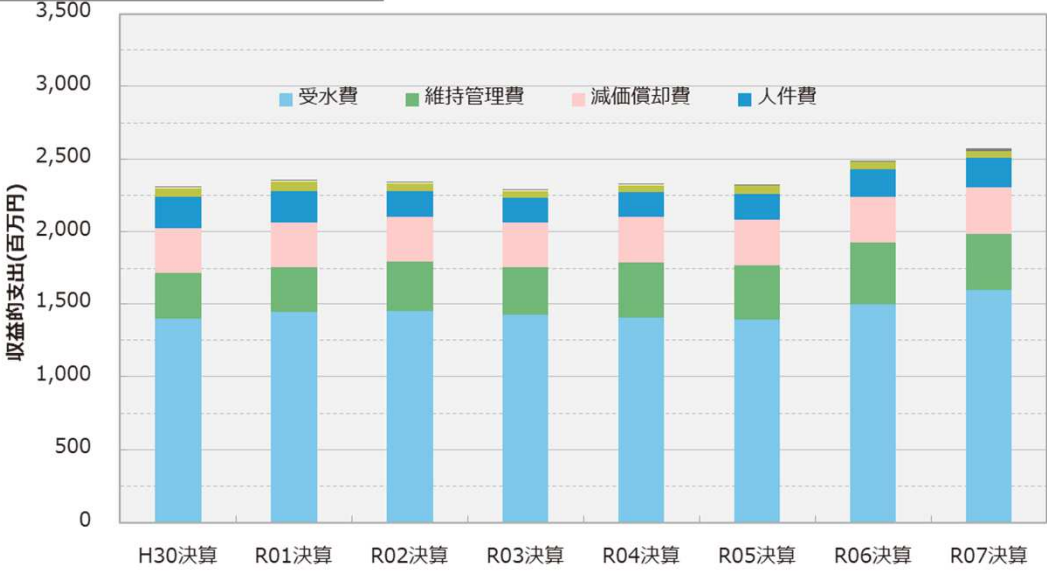
2. 経営分析

(1) 収益的収支の推移 (H30～R7年度)

収益的収入



収益的支出



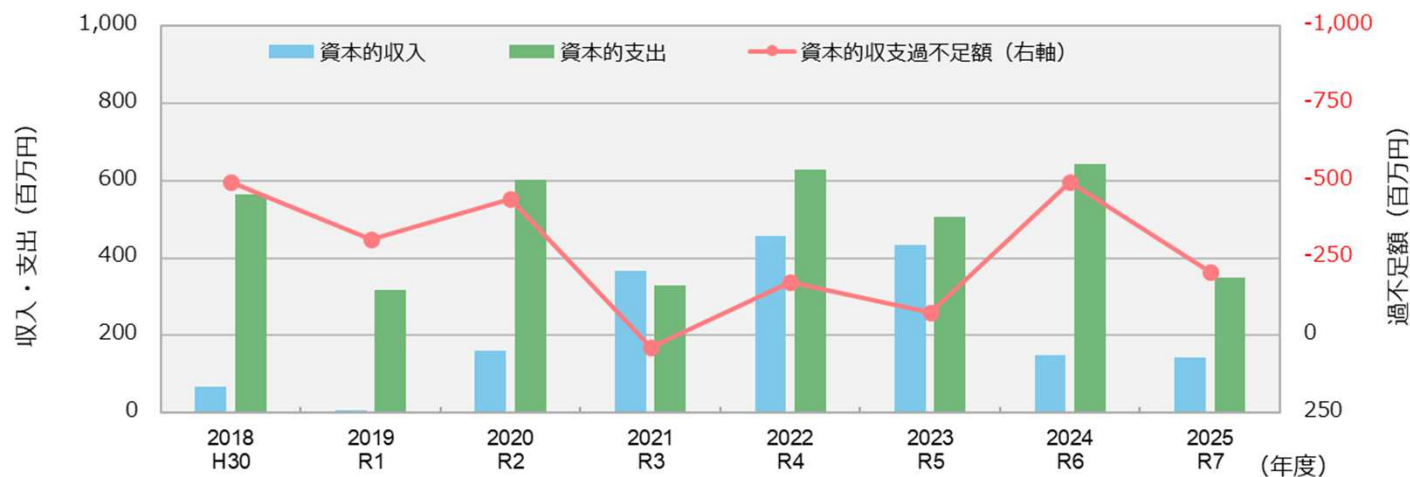
年度	(西暦) (和暦)	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7
給与収益	(千円)	2,244,580	2,347,789	2,184,803	2,351,189	2,326,703	2,286,653	2,251,594	2,347,663
長期前受金戻入	(千円)	101,500	99,535	99,634	99,134	98,668	98,199	99,130	99,109
他会計負担金	(千円)	2,527	3,183	102,876	1,845	14,462	2,593	2,789	126,367
その他	(千円)	122,463	99,340	94,106	75,568	72,140	72,542	93,799	76,791

年度	(西暦) (和暦)	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7
人件費	(千円)	139,321	142,042	121,959	120,277	123,227	128,849	187,514	202,195
維持管理費	(千円)	394,095	387,224	398,874	381,890	435,408	431,221	428,181	391,970
事務費	(千円)	58,472	66,265	49,519	48,016	46,881	56,170	55,242	45,770
受水費	(千円)	1,394,739	1,442,702	1,450,535	1,425,197	1,404,205	1,390,576	1,498,010	1,591,973
減価償却費	(千円)	311,870	307,956	308,810	305,928	312,477	313,499	314,523	325,237
支払利息	(千円)	9,434	7,676	5,843	4,008	2,412	913	226	48
その他	(千円)	953	807	9,076	2,603	8,273	2,145	5,246	14,886

2. 経営分析

(1) 資本的収支の推移 (H30～R7年度)

資本的収支



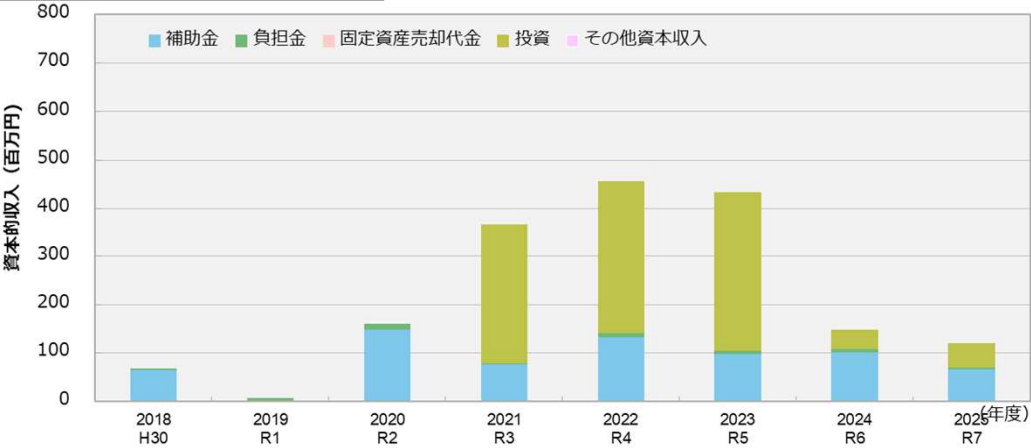
- 資本的収支不足額は0～5億円で推移しています。
- 令和3年度～令和5年度は、建物更生共済満期掛金により、約3億円の収入があり、資本的収支過不足額が小さくなっています。

年度	(西暦) (和暦)	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7
資本的収入	(千円)	67,097	7,212	159,609	367,372	456,977	433,337	148,518	144,179
資本的支出	(千円)	564,632	316,258	601,659	329,044	627,801	507,263	643,903	348,748
資本的収支過不足額	(千円)	-497,536	-309,046	-442,050	38,329	-170,824	-73,926	-495,386	-204,569

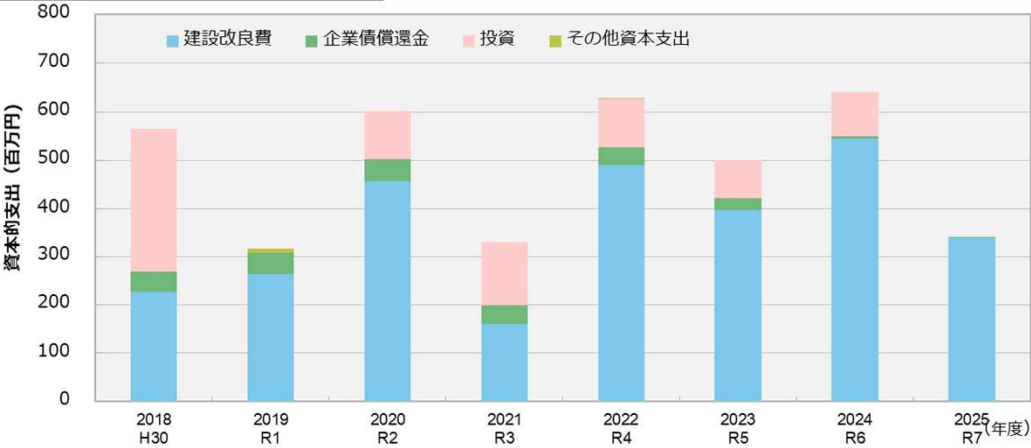
2. 経営分析

(1) 資本的収支の推移 (H30～R7年度)

資本的収入



資本的支出



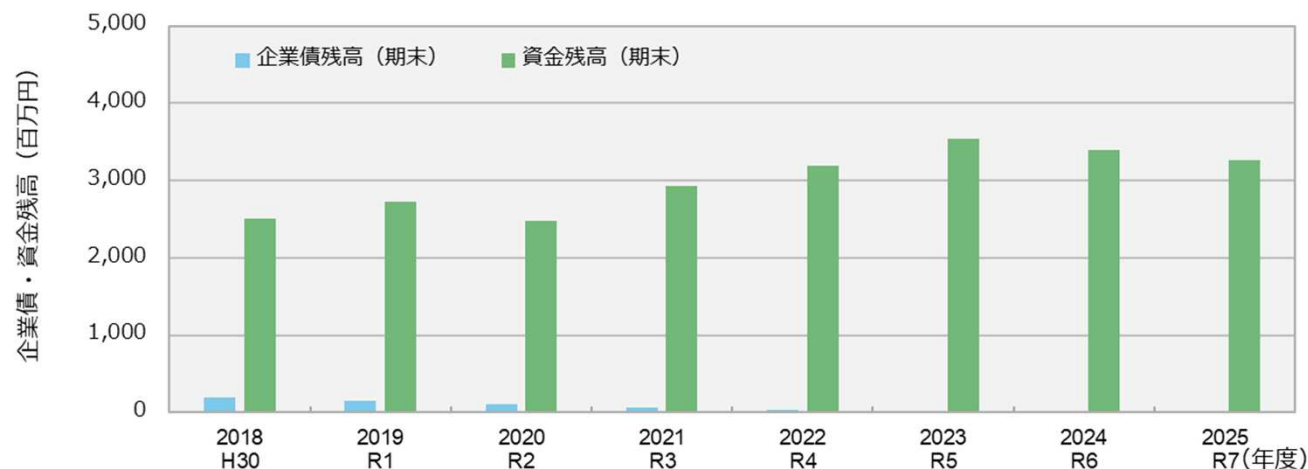
年度	(西暦) (和暦)	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7
補助金	(千円)	64,000	0	148,000	77,029	131,587	97,874	101,139	65,270
負担金	(千円)	3,097	7,212	11,609	531	9,342	5,809	6,379	4,328
固定資産売却代金	(千円)	0	0	0	0	175	65	0	0
投資	(千円)	0	0	0	289,812	315,873	329,589	41,000	50,000
その他資本収入	(千円)	0	0	0	0	0	0	0	0

年度	(西暦) (和暦)	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7
建設改良費	(千円)	227,090	264,042	457,115	160,389	491,015	397,257	544,231	338,163
企業債償還金	(千円)	40,953	42,710	44,544	38,654	35,703	24,134	5,269	2,043
その他資本支出	(千円)	0	9,505	0	0	1,084	5,873	4,404	8,542
投資	(千円)	296,589	0	100,000	130,000	100,000	80,000	90,000	0

2. 経営分析

(1) 収益的収支の推移 (H30～R7年度)

企業債残高・資金残高



年度	(西暦) (和暦)	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7
企業債残高 (期末)	(千円)	193,056	150,346	105,802	67,148	31,445	7,312	2,043	0
資金残高 (期末)	(千円)	2,503,850	2,722,735	2,479,845	2,935,918	3,189,160	3,545,258	3,389,194	3,257,347

- 企業債残高は2018年度の2億円から2025年度には完済しました。
- 資金残高については、2018年度の25億円から2023年度の35億円まで漸増しています。
- しかし、令和6年度、令和7年度は、県企業局の水道料金の値上げがあり、資金残高が減少しています。
- 企業債残高が減少し、資金残高が増加することは経営上望ましいのですが、支払利息や元金償還金が急激に増加するのは、経営の安定性上の問題があります。
- そのため、適切な起債方法、資金残高の維持を検討する必要があります。

2. 経営分析

(2) 比較分析表

経常収支比率

【指標の意味】

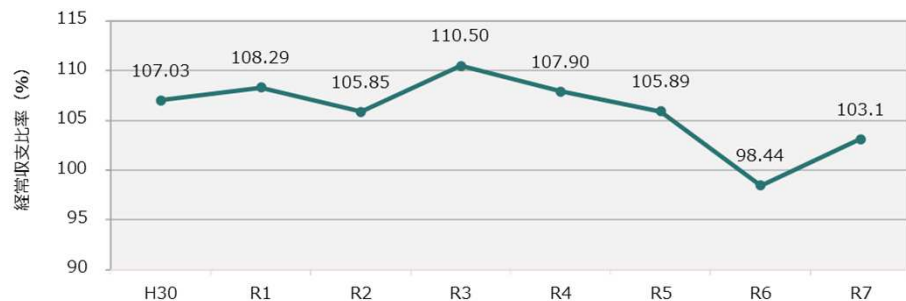
経常収支比率は、給水収益等の収益で、人件費や維持管理費等の費用をどの程度まかなえているかを表す指標

【分析の考え方】

当該指標は、単年度の収支が黒字であることを示す100%以上となっていることが必要。

【本市の値】

令和6年度は県企業局の水道料金の値上げがあり、100%を下回っているが、令和7年7月には本市の水道料金を値上げしたことで100%を超えている。



料金回収率

【指標の意味】

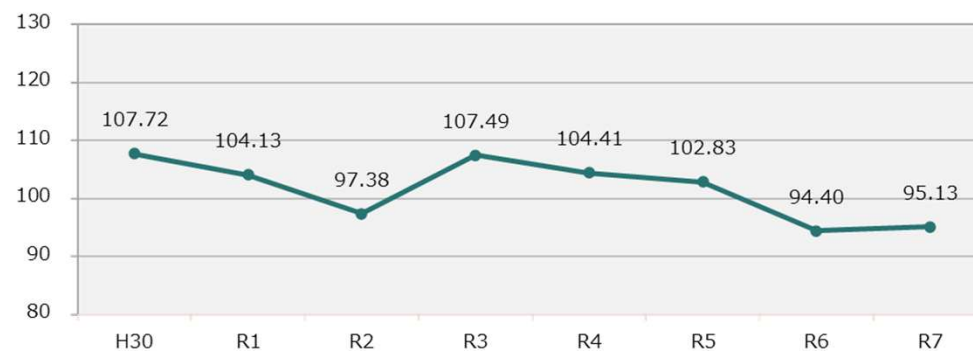
給水にかかる費用を給水収益で賄えているかを表した指標。

【分析の考え方】

100%を下回っている場合、給水に係る費用が給水収益以外の収益で賄われていることを意味する。

【本市の値】

令和2年度はコロナ禍における水道料金減免措置による影響を受けている。令和6年度、令和7年度は、県企業局の水道料金の値上げによる影響を受けている。



2. 経営分析

(2) 比較分析表

給水原価

【指標の意味】

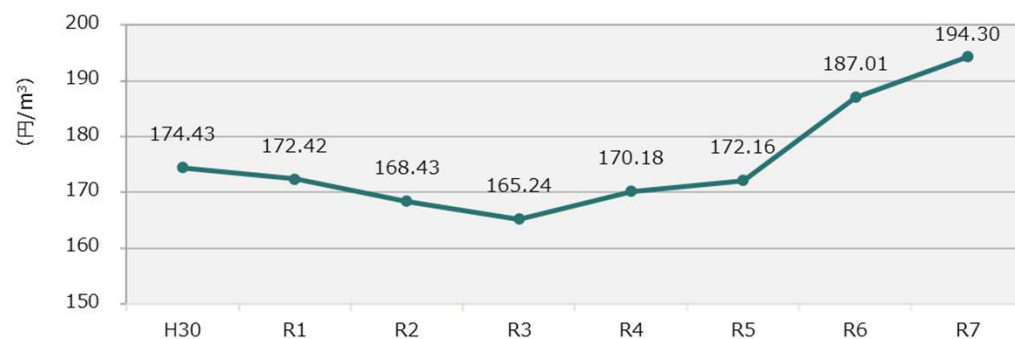
有収水量 1 m³あたりどれだけの費用がかかっているかを表す指標

【分析の考え方】

当該指標については、明確な数値基準はない。経年比較や類似団体との比較等により状況を把握・分析し、適切な数値となっているか評価する必要がある。

【本市の値】

県企業局の水道料金の値上げにより、令和 6 年度から給水原価が上がっている。



2. 経営分析

(2) 比較分析表

有形固定資産減価償却率

【指標の意味】

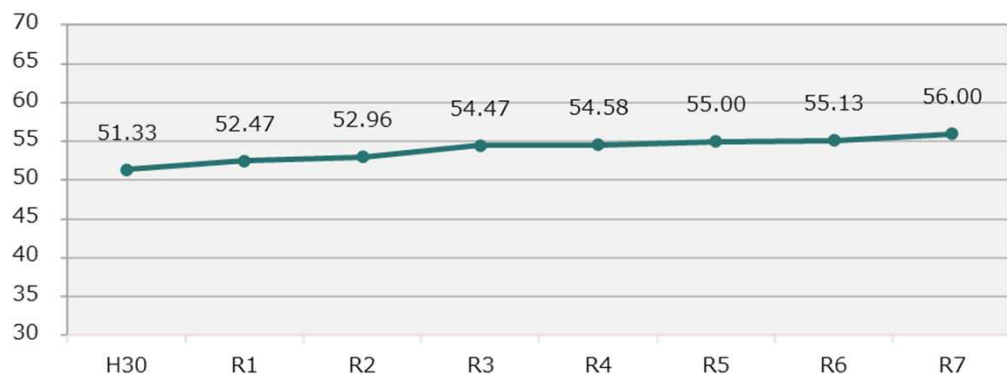
有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標。

【分析の考え方】

明確な数値基準はない。数値が高いほど、法定耐用年数に近い資産が多いことを示し、将来の施設の更新等の必要性を推測できる。

【本市の値】

上昇傾向であり、既存施設の経年化が進行している。計画的な施設更新が必要となります。



管渠経年化率

【指標の意味】

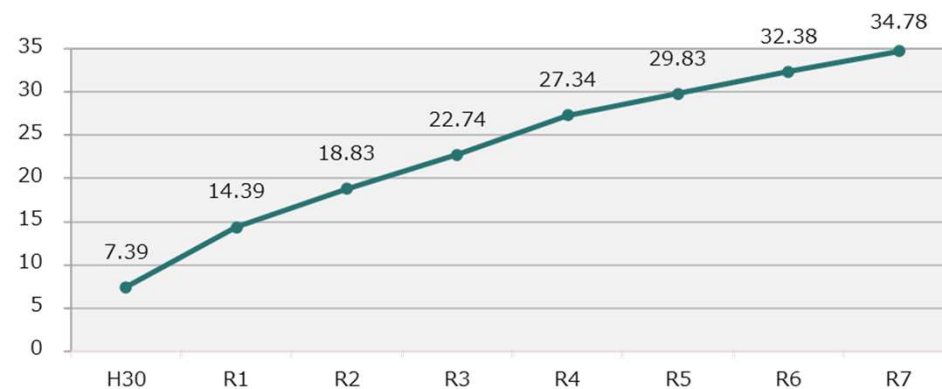
法定耐用年数を超えた管路延長の割合を示す指標。

【分析の考え方】

数値が高い場合は、法定耐用年数を経過した管路を多く保有しており、管路の更新等の必要性を推測することができる。

【本市の値】

上昇傾向であり、老朽化管路の更新など適切な投資が必要となる。



2. 経営分析

(2) 比較分析表

管路更新化率

【指標の意味】

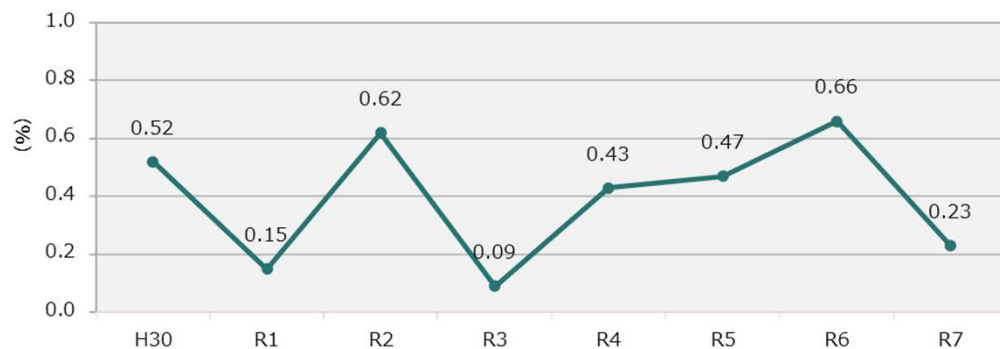
当該年度に更新した管路延長の割合を表す指数。

【分析の考え方】

明確な数値基準はない。数値が2.5%の場合、すべての管路を更新するのに40年かかる更新ペースとなる。

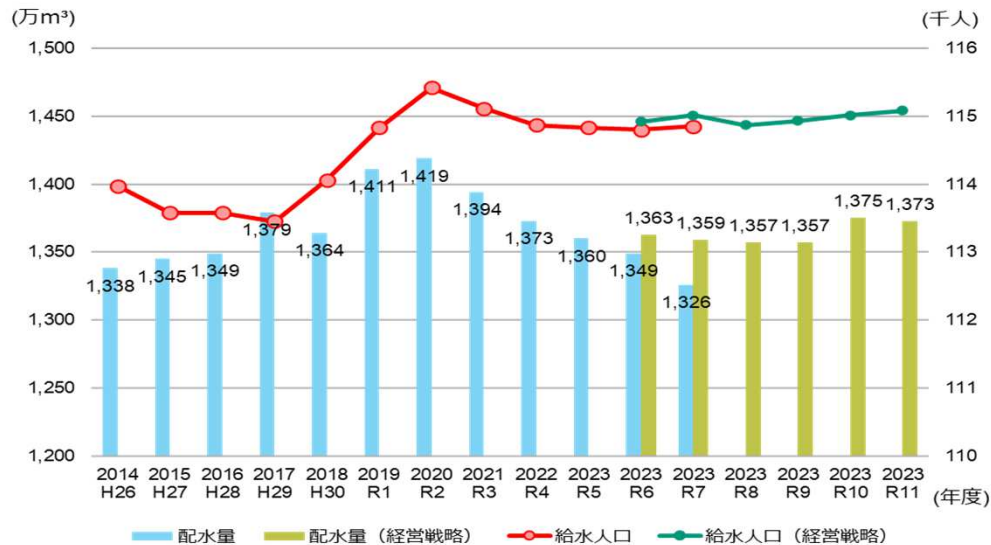
【本市の値】

概ね0.4%前後で推移しており、すべての管路を更新するのに単純計算で200年を要する。より一層の更新への対応が必要。



3. フォローアップ

(1) 給水人口と給水量

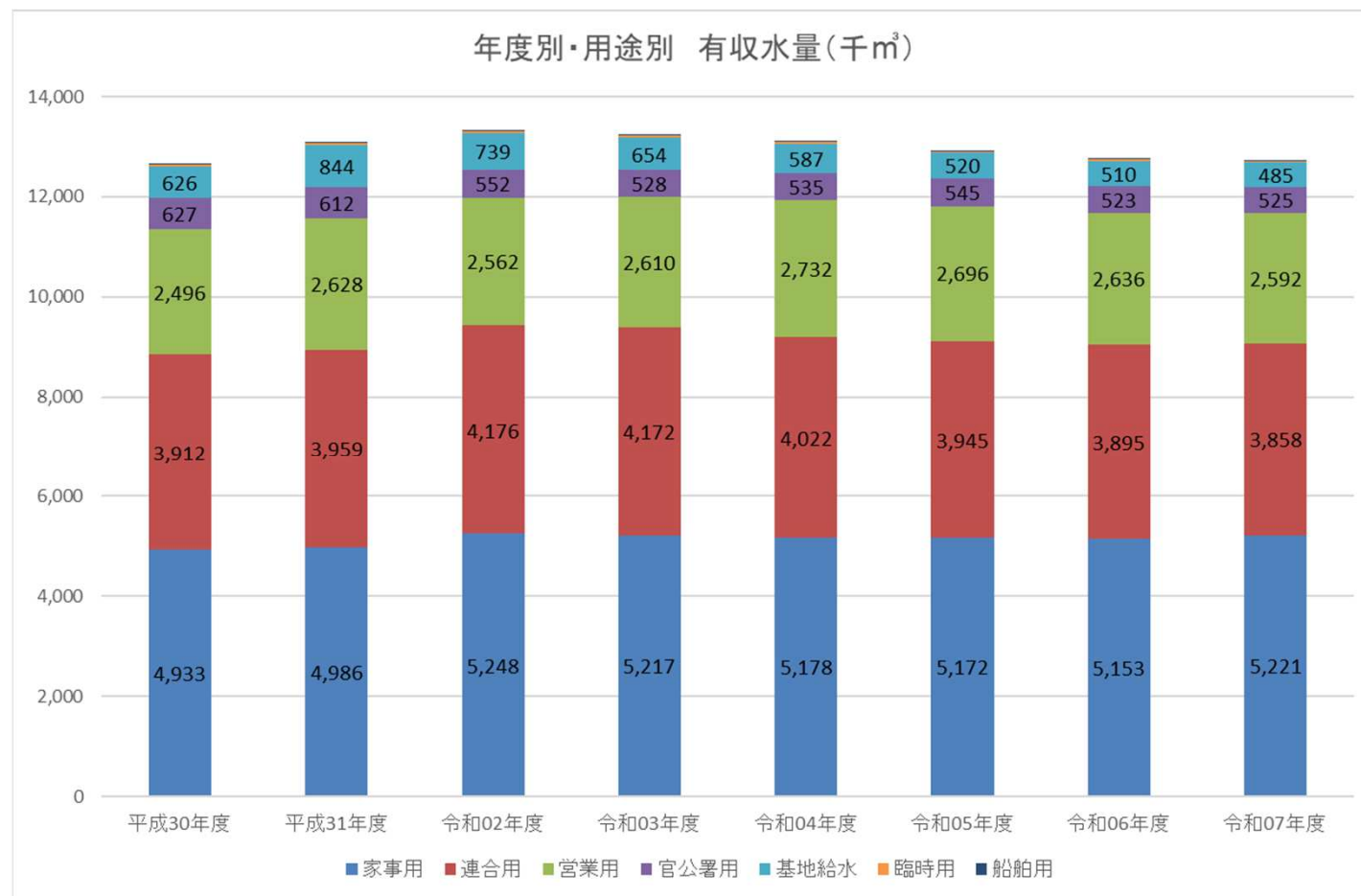


- 給水人口は経営戦略の想定値より下回っていますが、微増といった動きとしてはあります。
- 配水量は経営戦略の想定よりも約2.5%ほど下回っています。

		R6			R7			R8	R9	R10	R11
		経営戦略	決算値	差	経営戦略	決算値	差	経営戦略	経営戦略	経営戦略	経営戦略
給 水 人 口 (人)		114,915	114,803	▲112	115,006	114,854	▲152	114,868	114,933	115,008	115,081
年間有収水量	合計 (m)	12,834,130	12,753,583	▲80,547	12,826,465	12,701,158	▲125,307	12,807,449	12,808,982	12,947,609	12,958,559
	家事用+連合用 (m)	9,034,845	9,048,291	13,446	9,041,780	9,079,076	37,296	9,031,195	9,036,305	9,042,145	9,047,620
	営業用 (m)	2,748,085	2,636,317	▲111,768	2,785,315	2,591,781	▲193,534	2,822,910	2,860,140	3,029,135	3,066,730
	官公署用 (m)	543,850	523,125	▲20,725	543,850	524,636	▲19,214	543,850	543,850	543,850	543,850
	基地用 (m)	459,937	510,044	50,108	408,107	484,503	76,397	362,080	321,273	285,065	252,945
	臨時用 (m)	41,026	25,203	▲15,823	41,026	18,300	▲22,726	41,026	41,026	41,026	41,026
	船舶用 (m)	6,388	10,603	4,216	6,388	2,862	▲3,526	6,388	6,388	6,388	6,388
年間無収水量 (m)		299,300	296,327	▲2,973	298,935	290,422	▲8,513	298,242	334,445	301,527	301,892
年間有効水量 (m)		13,133,430	13,049,910	▲83,520	13,125,400	12,991,580	▲133,820	13,105,690	13,143,426	13,249,135	13,260,450
年間無効水量 (m)		462,090	439,807	▲22,283	462,090	271,547	▲190,543	461,360	462,624	466,470	466,835
年間配水量 ※有効水量+無効水量 (m)		13,595,520	13,489,717	▲105,803	13,587,490	13,263,127	▲324,363	13,567,050	13,606,050	13,715,605	13,727,285

3. フォローアップ

(2) 用途別水量



- 基地給水量は年々減少し、全体の約3.8%となっています。

(3) 收益的收支

浦添市上下水道部 水道事業経営戦略フォローアップ

3. フォローアップ

(3) 資本的収支

区 分		年 度	2024年 (R6)			2025年 (R7)			2026年 (R8)	2027年 (R9)	2028年 (R10)	2029年 (R11)	2030年 (R12)	2031年 (R13)	2032年 (R14)	2033年 (R15)	2034年 (R16)
			推計値	決算値	差額	推計値	決算値	差額									
資本的収入	資本的収入	1. 企業債	34,959	0	△ 34,959	41,094	0	△ 41,094	88,555	91,389	126,327	249,622	221,629	134,752	80,989	70,835	33,318
		2. 他会計負担金	6,267	6,379	112	6,267	28,909	22,642	6,267	6,267	6,267	6,267	6,267	6,267	6,267	6,267	6,267
		3. 国（都道府県）補助金	100,000	101,139	1,139	100,000	65,270	△ 34,730	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
		4. その他	46,000	41,000	△ 5,000	46,000	50,000	4,000	46,000	46,000	46,000	46,000	46,000	36,000	23,000	13,000	0
		計 (A)	187,226	148,518	△ 38,708	193,361	144,179	△ 49,182	240,822	243,656	278,594	401,889	373,896	277,019	210,256	190,102	139,585
		(A)のうち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額 (B)	0	20,579	20,579	0	21,599	21,599	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		純計 (A)-(B) (C)	187,226	127,939	△ 59,287	193,361	122,580	△ 70,781	240,822	243,656	278,594	401,889	373,896	277,019	210,256	190,102	139,585
	資本的支出	1. 建設改良費	253,607	544,231	290,624	577,405	338,163	△ 239,242	529,326	559,553	661,944	993,924	864,909	576,096	508,402	475,653	598,817
		うち職員給与費	47,363	41,345	△ 6,018	47,364	61,108	13,744	47,365	47,366	47,367	47,368	47,369	47,371	47,373	47,375	47,377
		2. 企業債償還金	5,269	5,269	0	2,043	2,043	0	874	1,917	4,169	6,534	9,817	16,245	22,096	25,889	28,407
資本的支出		3. その他	0	94,404	94,404	0	8,542	8,542	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計 (D)	258,876	643,904	385,028	579,448	348,748	△ 230,700	530,200	561,470	666,113	1,000,458	874,726	592,341	530,498	501,542	627,224
		資本的収入額が資本的支出額に不足する額 (D)-(C) (E)	71,650	515,965	444,315	386,087	226,168	△ 159,919	289,378	317,814	387,519	598,569	500,830	315,322	320,242	311,440	487,639
	補填財源	1. 損益勘定留保資金	58,256	466,779	408,523	543,257	100,259	△ 176,996	250,918	276,607	337,003	517,873	431,863	272,611	283,685	277,860	442,862
		2. 利益剰余金処分数額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		3. 繰越工事資金	0	29,939	29,939	0	20,579	20,579	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		4. その他	13,394	19,247	5,853	42,830	39,330	△ 3,500	38,460	41,207	50,516	80,696	68,967	42,711	36,557	33,580	44,777
		計 (F)	71,650	515,965	444,315	386,087	226,168	△ 159,919	289,378	317,814	387,519	598,569	500,830	315,322	320,242	311,440	487,639
		補填財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		他会計借入金残高 (G)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
企業債		企業債残高 (H)	37,002	2,043	△ 34,959	76,053	0	△ 76,053	163,734	253,206	375,364	618,452	830,264	948,771	1,007,664	1,052,610	1,057,521

3. フォローアップ

(3) 他会計繰入金

区 分	2024年 (R6)			2025年 (R7)			2026年 (R8)	2027年 (R9)	2028年 (R10)	2029年 (R11)	2030年 (R12)	2031年 (R13)	2032年 (R14)	2033年 (R15)	2034年 (R16)
	推計値	決算値	差額	推計値	決算値	差額									
収 益 的 収 支 分	2,593	2,789	196	2,645	4,768	2,123	2,698	2,752	2,807	2,863	2,920	2,978	3,038	3,099	3,161
うち基準内繰入金	2,593	2,789	196	2,645	4,768	2,123	2,698	2,752	2,807	2,863	2,920	2,978	3,038	3,099	3,161
うち基準外繰入金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資 本 的 収 支 分	6,267	3,679	△ 2,588	6,267	4,328	△ 1,939	6,267	6,267	6,267	6,267	6,267	6,267	6,267	6,267	6,267
うち基準内繰入金	6,267	3,679	△ 2,588	6,267	4,328	△ 1,939	6,267	6,267	6,267	6,267	6,267	6,267	6,267	6,267	6,267
うち基準外繰入金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	8,860	6,468	△ 2,392	8,912	9,096	184	8,965	9,019	9,074	9,130	9,187	9,245	9,305	9,366	9,428

4. まとめ

【現状と主要な課題】

- 給水量減少傾向が続くと想定されます。
- 多くの水道施設、特に前田第1調整池や仲間配水池といった基幹施設、そして総延長の約35%を占める法定耐用年数超過の管路など、広範囲で老朽化が進行しています。
- 現在の管路更新ペースでは、全体を更新するのに単純計算で約200年を要することから、将来的な漏水増加や大規模修繕による影響が懸念されます。
- 老朽化した施設・管路の更新に伴い建設改良費の増加が見込まれており、資金残高の維持と適切な起債方法の検討が喫緊の課題です。

4. まとめ

【今後の方向性】

- 本経営戦略の期間は令和7年度～令和**16**年度の**10**年間であり、令和7年7月の水道料金の改定は令和7年度～令和**11**年度の5カ年を想定したものとなっています。
- 本フォローアップ期間は令和**7**年度分のみのデータしか得られておりません。そのため、本報告を踏まえつつ、今後も引き続き経営戦略の進捗と事業運営の経緯を注意深く見守り、必要に応じて計画の柔軟な見直しを図ってまいります。

ご清聴ありがとうございます。